PSZ-1134(18117)

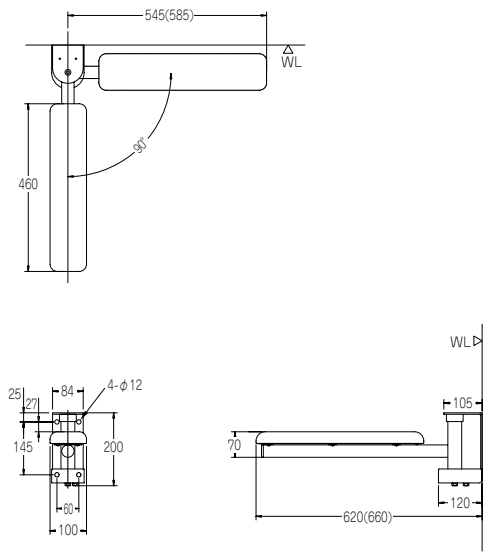
施工説明書

前方ボード KFC-500
前方ボード付棚手すり NKF-3BU

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

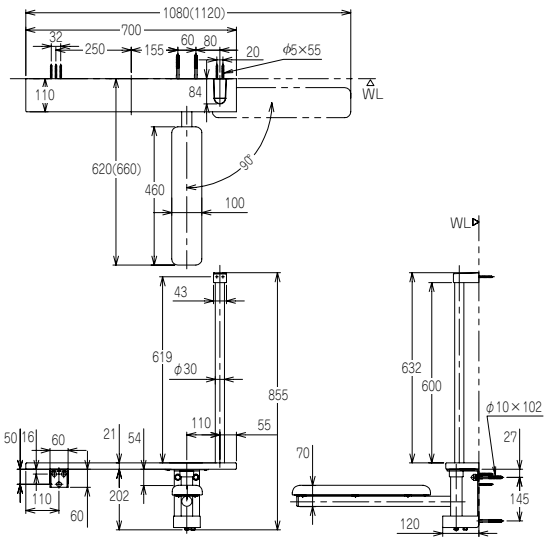
●商品図

KFC-500



●壁から便器中心までの距離が411～460の場合、前方ボードを40㎜長く伸ばして使う必要があります。（施工方法参照）
（　）内の寸法はボード長さを40㎜長くした場合の寸法を示しています。
●本商品は左右共用です。現場にて左壁、右壁どちらにもご使用いただけます。

NKF-3BU



●壁から便器中心までの距離が411～460の場合、前方ボードを40㎜長く伸ばして使う必要があります。（施工方法参照）
（　）内の寸法はボード長さを40㎜長くした場合の寸法を示しています。
●本商品は左右共用です。現場にて左壁、右壁どちらにもご使用いただけます。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

指示 ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

水場使用禁止 ……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

⚠ 注　意

必ず強度のある壁、建築構造体に取付けてください。 ※土壁、石膏ボード壁など強度のない壁に直接取付けると、手すりが外れたり壁が壊れたりして使用される方がケガをする恐れがあります。	指示
建物の駆体構造毎の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ及び補強があることをご確認ください。 ※取付けが不安定となり、ケガをする恐れがあります。	指示
石膏ボード等のボード張りには、必ずあらかじめ補強木を入れて補強してください。 補強木は柱または間柱に固定ください。 ※手すりが外れたり壁が壊れたりして使用される方がケガをする恐れがあります。	指示
外れたり、ガタが生じないように強固に取り付けてください。 ※取付けが不安定となり、ケガをする恐れがあります。	指示
取付壁に突起や不陸がないことを確認してから施工してください。 ※取付後、ガタが発生する恐れがあります。	指示
浴室など、水がかかったり湿気の多い場所には設置しないでください。 ※木製材料を使用のため腐食によりケガをする恐れがあります。 ※内部部品が腐食により、前方ボードの機能を損なう恐れがあります。	水場使用禁止
固いものをぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。 ※商品が破損して、ケガをする恐れがあります。	禁止
下穴は必ずあけてください。ねじは強く締め付けすぎないでください。 ※インパクトドライバー等の強いトルクが加えられるドライバーの使用はブラケットが破損する原因になります。	指示

●ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
●木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、あらかじめ壁裏に補強木を入れ補強してください。
●中空壁への施工はできませんので、後述の「施工方法」に従い、かならずモルタル等を充填するとともに、適切な方法で補強をしてください。

●施工前のご注意

●取付前に取付壁に突起や不陸がないことを確認してください。
※壁に不陸がある場合、ワッシャーやスペーサーを用いてフラット面を確保してください。
●油など汚れが付着した手で商品を触らないようにしてください。
※汚れがとれなくなる恐れがあります。

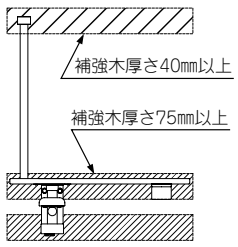
●KFC-500の場合

壁に固定する金具は　別売になっています。現場の壁仕様や施工方法に合った固定金具を別手配ください。
詳しくは、個別の施工方法をご確認ください。

外観	ハンガーボルトセット	あと施工アンカー（芯棒打込み式）	AYボルト	あと施工アンカー（本体打込み式）	取付プレート（前方ボード手すり用）	全ネジボルト
品番	KF-D18	KF-D17(1P)	AY-68	KF-D32	KF-D13	KF-D33
定価	¥1,700（税抜）	¥950（税抜）	¥1,650（税抜）	¥450（税抜）	¥2,800（税抜）	¥550（税抜）
入り数	4本入り	1本入り	1本入り	2本入り	1枚入り	2本入り

●NKF-3BUの場合

【乾式壁の場合】同梱のタッピンネジ、ハンガーボルトを使用し施工ください。
●前方ボード固定部は厚さ75㎜以上の補強木（取付木）を設けてください。
縦手すり固定部は厚さ40㎜以上の補強木（取付木）を設けてください。
補強木は柱、間柱に固定してください。
●ボード張りの厚さは12.5㎜以下を想定しています。
厚さが12.5㎜を超える場合は、縦手すり、棚取付用のタッピンネジ（φ5×55）について超えた分だけ長いタッピンねじを別途ご用意ください。
厚さが25㎜を超える場合は、超えた分だけ長いハンガーボルト、タッピンネジを別途ご用意ください。

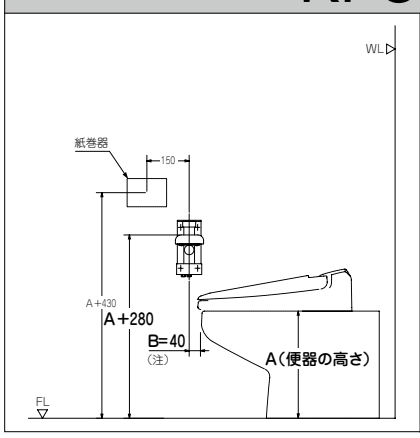


【湿式壁の場合】別売のＡＹボルトを使用してください。
NKF-3BUの場合（AY-68：4本　AY-84：2本　AY-74：3本　18-1069：3個）
●下地材はコンクリートとし、取付部の奥行きは100㎜以上を確保してください。
●壁仕上げ材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは20㎜以下としてください。

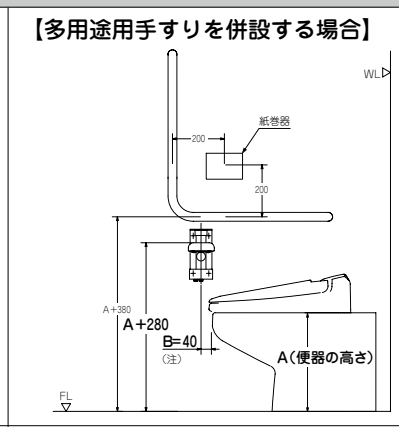
●推奨設置位置

下図を参照し、使い易さに合わせて取付位置を決めてください。

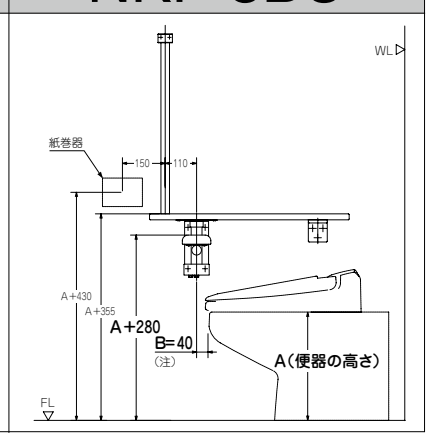
KFC-500



【多用途用手すりを併設する場合】



NKF-3BU



（注）
Ｂ寸法（便器先端から前方ボード中心まで）の推奨値は40㎜です。
他に併設する機器との干渉を避ける場合は、100㎜までずらすことができます。
（使い勝手上、許容範囲です。）

〔KFC-500と他の手すりを併設する場合〕

●前方ボード可動範囲に他の手すりを設置しないでください。
●多用途用手すり（Ｉ型、Ｌ型）の下面と前方ボードの上面の間を30㎜以上空けて設置してください。
※空間が少ないと手すりを握って使えなくなります。
●多用途用手すりL型（926タイプ・927タイプ）とは、使い勝手が損なわれるため同一壁に設置しないでください。
●多用途用手すりL型（KF-922）と前方ボードを同一壁に設置する場合は紙巻器を前方ボードと反対壁に取り付けてください。
●前方ボードにて棚を支える構造になっています。棚と前方ボードの位置関係は調整できません。
●前方ボード付棚手すりを上記推奨位置より便器前方に離して設置する場合、紙巻器を前方ボード付棚手すりとは別壁に取り付けてください。

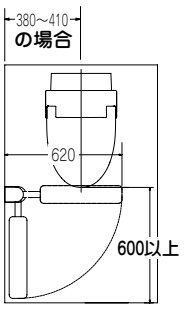
株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

●設置上のご注意

●前方ボードの収納スペースを確保するため、以下の設置空間が必要です。
事前によくご確認ください。

●壁から便器中心までが380～410mmの場合（間口760～820mm）

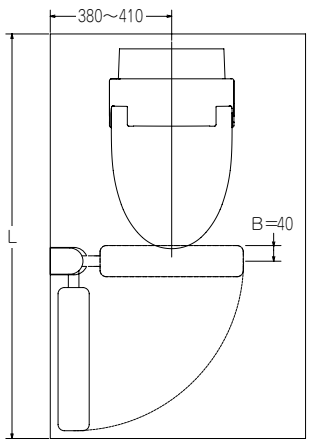


前方ボードの長さを、出荷時の状態（620㎜）の長さで使用します。

設置時に便器前方に600㎜以上の空間が必要になります。

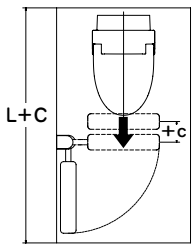
代表的な便器設置時の必要奥行き寸法

便器先端から前方ボード中心まで（B寸法）が40㎜の場合



便器	便器前出寸法	必要奥行き寸法L
SATIS	650	1250mm以上
SATIS（床上排水）	670	1270mm以上
ASTEO	710	1310mm以上
アメージュV、アメージュC	760	1360mm以上
センサー大便器	650	1250mm以上
一般洋風便器（C5R, C4R）	690	1290mm以上

前方ボードを40㎜より離して設置する場合

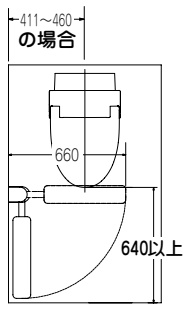


40㎜より離した分だけ余分に空間を確保してください。

（例）便器がSATISの場合

B寸法	C寸法	必要な奥行き寸法L
40	0	1250mm以上
100	60	1310mm以上

●壁から便器中心までが411～460mmの場合（間口821～920mm）

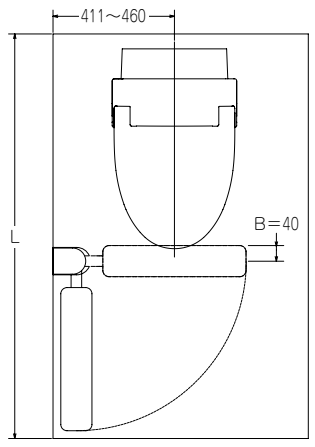


前方ボードの長さを、660㎜に伸ばして使用します。（施工方法参照）

設置時に便器前方に640㎜以上の空間が必要になります。

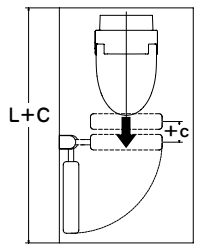
代表的な便器設置時の必要奥行き寸法

便器先端から前方ボード中心まで（B寸法）が40㎜の場合



便器	便器前出寸法	必要奥行き寸法L
SATIS	650	1290mm以上
SATIS（床上排水）	670	1310mm以上
ASTEO	710	1350mm以上
アメージュV、アメージュC	760	1400mm以上
センサー大便器	650	1290mm以上
一般洋風便器（C5R, C4R）	690	1330mm以上

前方ボードを40㎜より離して設置する場合



40㎜より離した分だけ余分に空間を確保してください。

（例）便器がSATISの場合

B寸法	C寸法	必要な奥行き寸法L
40	0	1290mm以上
100	60	1350mm以上

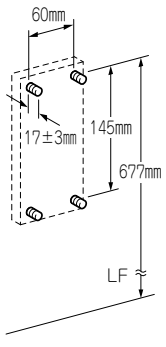
KFC-500施工方法

●施工方法

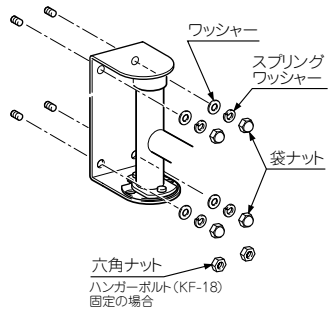
①各種ボルト取付け
各種駆体構造の施工手順に従い、各種ボルトを壁に取り付けてください。

壁仕上げ面よりボルトが約17±3㎜出るように取り付けます。

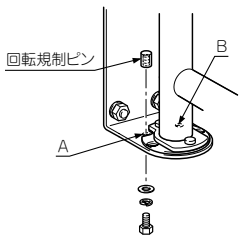
下記の各種駆体構造への取付方法に従い取り付けます。



②前方ボード壁取付け
前方ボードの取付穴に、ボルトを通しワッシャー、袋ナット、ナットにて取り付けます。
袋ナット、ナットはしっかりと締め付けてください。

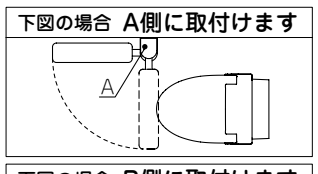


③回転規制
前方ボードの回転規制ピンをLRの向きにあわせて取り付けます。

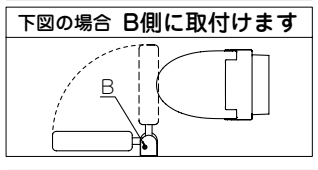


注意　取付け後、回転方向が正しいか、作動させ確認ください。

下図の場合　A側に取付けます



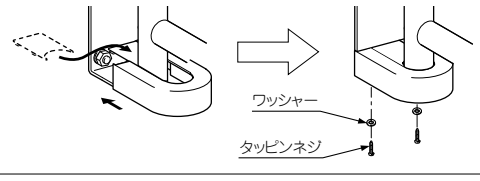
下図の場合　B側に取付けます



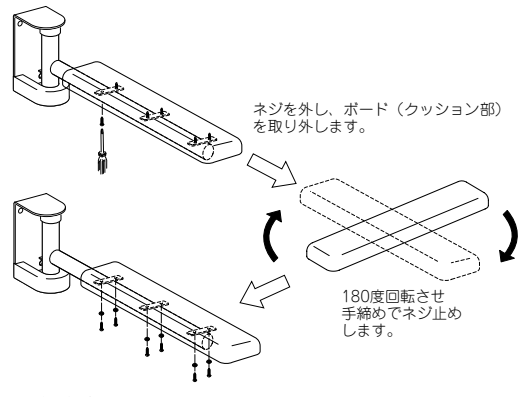
⚠注　意

必ず取り付けてください。
※取り付けないとケガをする恐れがあります。

④化粧カバー取付け
カバー通しを図のようにスライドさせながら嵌合させ、下部より手締めでネジ止めしてください。



⑤ボード部（クッション部）の付替え
壁から便器中心までの距離が411～460㎜の場合ネジを外し、位置を付替えます。



⑥取付後の作動確認
施工後、取付け方向が正しいか、スムーズに作動するか、ガタツキがないかを確認してください。
また同梱のシールを付近の壁など、見易い位置に貼付けるかもしくは、お客さまにお渡しください。

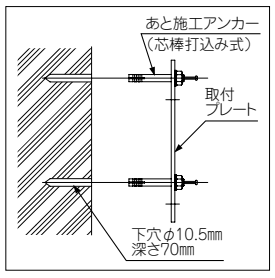
■各種駆体構造への取付方法

(1)コンクリート下地への取付方法（あと施工アンカー（芯棒打込み式）固定）

施工部材
KF-D13　1枚　KF-D17(1P)　4セット　KF-D33　2セット

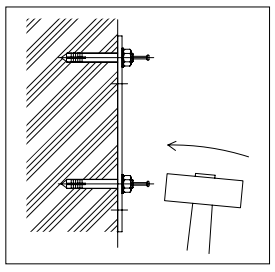
①壁を仕上げる前にコンクリート下地にKF-D13取付プレートをあてて取付位置をけがきます。
あと施工アンカー（芯棒打込み式）の下穴をφ10.5のドリルで約70㎜の深さにあけます。

注意　下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

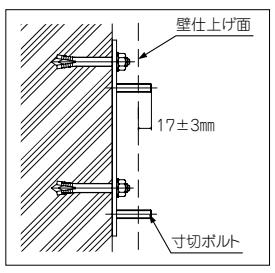


②あと施工アンカー（芯棒打込み式）のナットをアンカーボルトの上端より2～3㎜ねじ込み、取付プレートの取付穴（φ12穴）に通して下穴に差し込み、打ち込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打ち込みます。打ち込んだ後ナットを締め付けます。

注意　あと施工アンカー（芯棒打込み式）は必ずコンクリート下地に40㎜以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

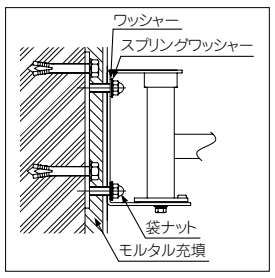


③壁仕上げ面より、寸切りボルトが約17±3㎜出る長さで寸切りボルトをカットします。
取付プレートのボルト穴に寸切ボルトをねじ込み、溶接してください。



④壁を仕上げた後、前方ボードの取付穴に、ボルトを通し、ワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

注意　中空壁には取付けできません。
必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。

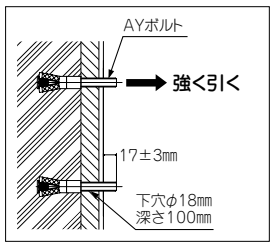


(2)コンクリート下地への取付方法（AYボルト固定）

施工部材
AY-68　4本

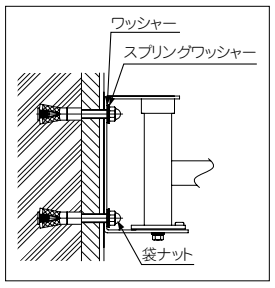
①AYボルトの下穴をφ18㎜のドリルで約100㎜の深さであけます。

注意　下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。



②ＡＹボルトを差し込んで、下穴の入口面でゴム筒の端を押さえ、ゴム部を強く引っ張ってボルトをしっかりと固定します。
壁仕上げ面よりボルトが約17±3㎜出る長さにボルトをねじ込みます。

注意　AYボルトは必ずコンクリート下地に30㎜以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。



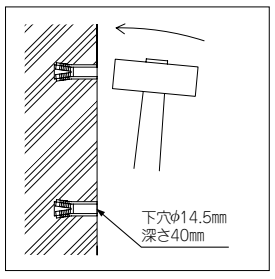
③前方ボードの取付穴に、ボルトを通し袋ナットで、強固に締め付けてください。

(3)GL工法への取付方法

施工部材
KF-D32　2セット　　KF-D33　2セット

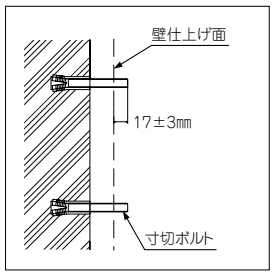
①あと施工アンカー（本体打込み式）の下穴をφ14.5㎜のドリルで40㎜の深さであけます。

注意　下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。



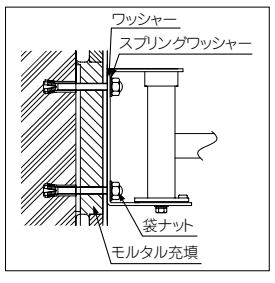
②下穴にあと施工アンカー（本体打込み式）を差し込んで、アンカーを打ち込みます。

③壁仕上げ面より、寸切りボルトが約17±3㎜出る長さで寸切りボルトをカットし、寸切ボルトをあと施工アンカー（本体打込み式）にねじ込みます。



④壁を仕上げた後、前方ボードの取付穴に、ボルトを通し、ワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

注意　中空壁には取付けできません。
必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。

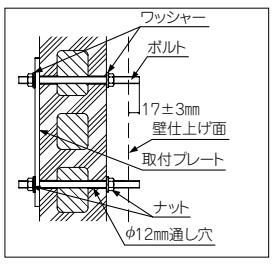


KFC-500施工方法つづき

(4)コンクリート下地ブロックへの取付方法
（取付けプレートはさみ込み固定）

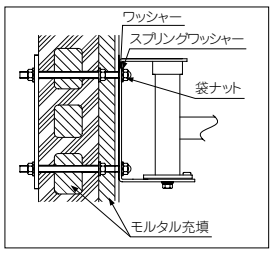
施工部材
KF-D13　1枚　　KF-D33　2セット
現場調達部材として
ナット（M10）　4個　平ワッシャー（M10）　4個が必要です

①壁に寸切りボルトを通すφ12㎜の通し穴をあけます。
寸切りボルトを穴に差込み、ブロックの裏側に取付けプレートをあてがって、表側よりナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。
ボルト長さは壁仕上げ面より約17±3㎜出る長さとしてください。



④壁を仕上げた後、前方ボードの取付穴に、ボルトを通し、ワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください　。

注意　中空壁には取付けできません。
必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。

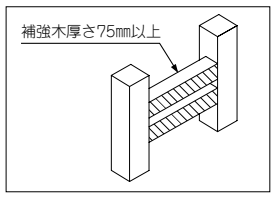


(5)木下地への取付方法

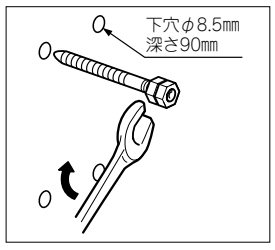
施工部材
KF-D18 1セット

①前方ボード固定部は厚さ75㎜以上の補強木（取付木）を設けてください。

注意　補強木は柱、間柱に固定してください。また、壁仕上げ材、ボード張りの厚さは25㎜以下としてください。

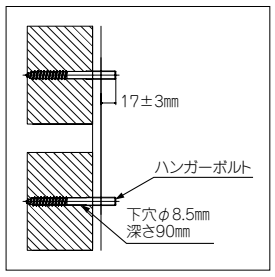


②ハンガーボルトの下穴をφ8.5㎜のドリルで約90㎜の深さにあけます。

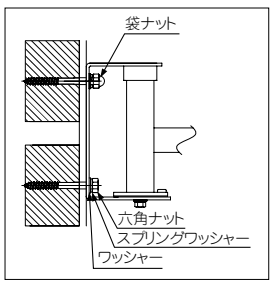


③ハンガーボルトを壁に取り付けます。
ハンガーボルトにナットを2個つけ、互いのナットを逆方向に締付けダブルナットとし、ナット部分に工具を掛け、壁仕上げ面からボルトが約17±3㎜出るように、壁にネジ込みます。

その後、締め付けたナットを外します。



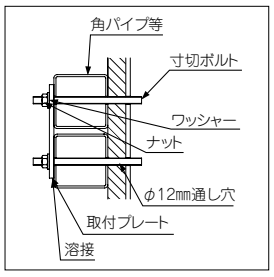
④前方ボードの取付穴にボルトを通し
ワッシャー、袋ナット、ナットで強固に締め付けてください。
下側2つのハンガーボルトを六角ナット、上側2つのハンガーボルトを袋ナットで固定します。



(6)軽量鉄骨下地への取付方法
（取付けプレートはさみ込み固定）

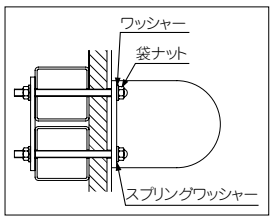
施工部材
KF-D13　1枚　　KF-D33　2セット
現場調達部材として
t＝2.3㎜以上の角パイプ（60×60）が必要です。

①駆体に補強用の角パイプ等を溶接し、更に取付けプレートを溶接します。
角パイプに寸切りボルトを通すφ12㎜の穴をあけます。



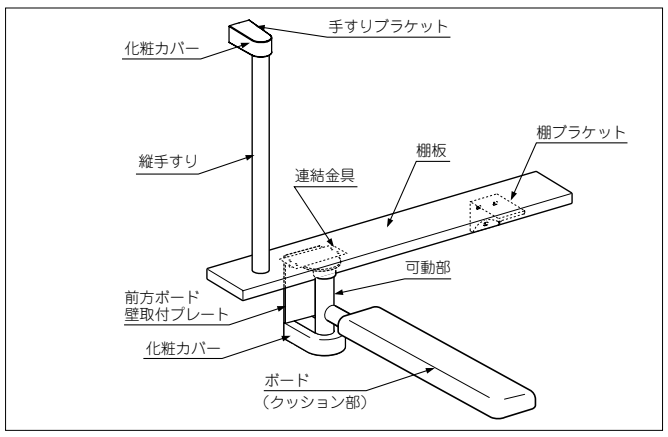
②壁仕上げ面より、寸切りボルトが約15～20㎜出る長さで寸切りボルトをカットします。
③ナットを付けた寸切ボルトを壁裏から通し穴に差し込みます。

④前方ボードの取付穴にボルトを通し
ワッシャ、袋ナットで強固に締め付けてください。



NKF-3BU施工方法

●各部の名称



●手すりの長さ調整

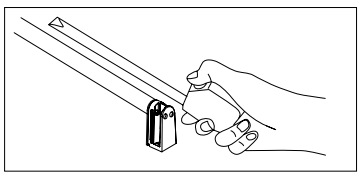
手すりの長さを調整するときは､以下の注意を必ず守ってください。

⚠注　意

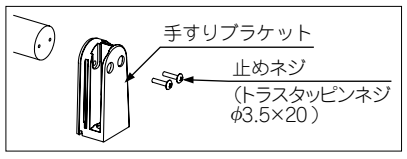
手すり棒の切断は、必ず手すり棒を固定して、直角に切断してください。 ※手すり棒の切断面が斜めになると手すりブラケットも斜めに組み付いてしまうため、品位が低下する恐れがあります。	指示
下穴をあけるときは、必ず手すり棒を固定してまっすぐ下穴をあけてください。 ※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。	指示
手すりブラケットと手すり棒が必ず面で当たるようにして、止めネジを締め付けてください。 ※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。	指示

手すり棒の長さを短くしたいときは､以下の手順で行ってください。

①短くする長さを決めます。



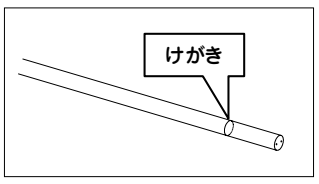
②片側の手すりブラケットに組み付いている止めネジ2本を取り外し、手すりブラケットを手すり棒から取り外します。



③切りたい位置にけがきをしてください。

注 意

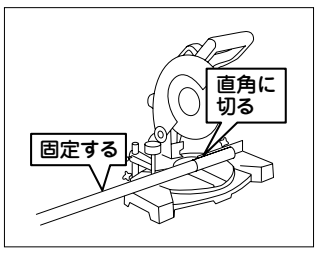
必ずけがきを直角に入れてください。
※切断面が斜めになると品位低下の恐れがあります。



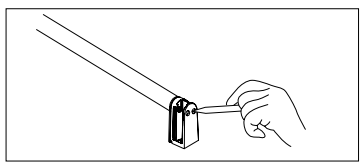
④手すり棒を固定し、直角に切断します。

注 意

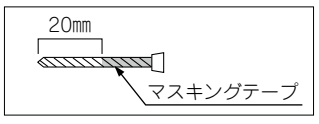
手すり棒を切断するときは卓上丸のこ等を使って直角に切断してください。
※切断面が斜めの状態で手すりブラケットに組み付けると、品位低下の恐れがあります。



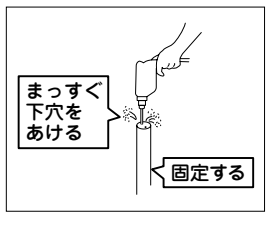
⑤手すりブラケットを差し込み、下穴の位置2ヶ所にけがきをしてください。



⑥φ2.5のドリルビット先端に20㎜残し、根元にマスキングテープを巻きます。



⑦手すり棒を固定し、マスキングテープを目印にしてφ2.5、深さ20㎜の下穴をあけます。



注 意

下穴をあけるときは、必ず手すり棒を固定してまっすぐ下穴をあけてください。
※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。

⑦手すり棒に②で取り外した止めネジ2本と手すりを組み付けます。

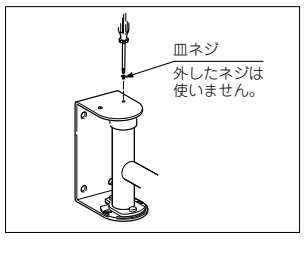
注 意

手すりブラケットと手すり棒が必ず面で当たるようにして、止めネジを締め付けてください。
※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。

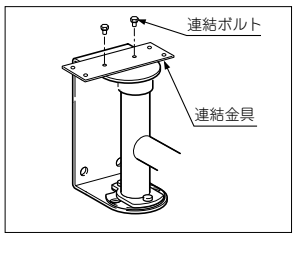
●施工方法

①前方ボードに連結金具を取り付けます。

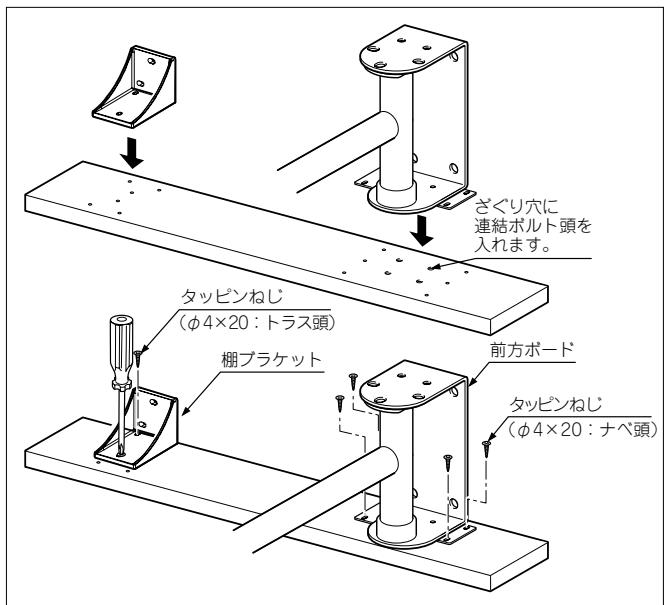
前方ボード上面に取り付いているネジを外してください。



連結金具を取り付けます。
（連結金具に裏表はありません）

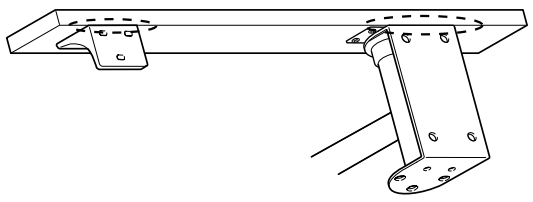


②棚に前方ボード、棚ブラケットを固定します。
施工する壁の向きに合わせて、ネジでしっかり固定してください。

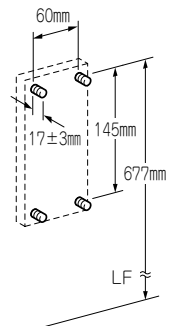


図は左壁に取り付ける場合です。右壁につける場合は逆向きに取りつけてください。

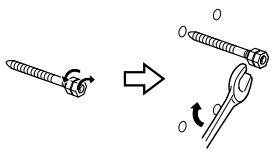
《**注意**》前方ボード、棚ブラケットと棚板に段差がないように確認しながら位置決めをして、しっかりと組み付けてください。
※段差があると壁との間に隙間ができてガタツキ・傾きの原因になります。



③前方ボード取付位置に下穴をあけ、ハンガーボルトまたは別売のAY-68を取り付けます。
壁仕上げ面よりボルトが15～20㎜出るように取りつけてください。



ハンガーボルトを取り付ける場合ハンガーボルトにナットを2個つけ、互いのナットを逆方向に締付けダブルナットとし、ナット部分に工具を掛け、壁仕上げ面からボルトが約17±3㎜出るように、壁にネジ込みます。



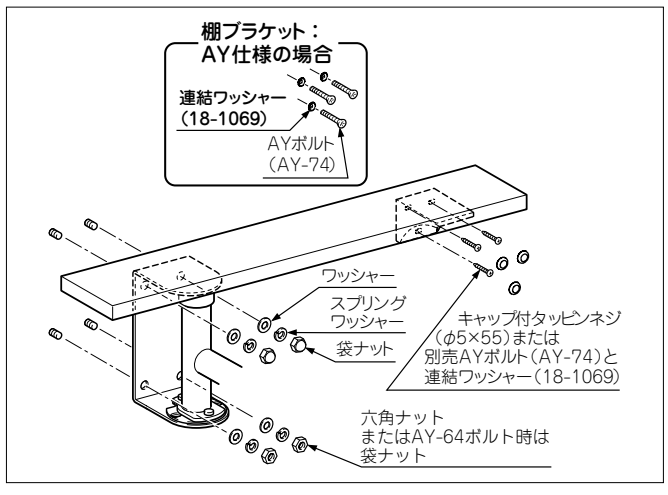
その後、締め付けたナットを外します。

	下穴	深さ
ハンガーボルト	φ8.5㎜	約90㎜
AY-68	φ18㎜	約100㎜

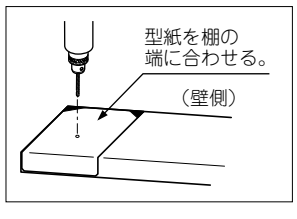
④棚ブラケットの取付位置に下穴をあけます。
ハンガーボルトに仮止めし、水平、垂直を確認し、棚部ラケットの取付位置をけがき、下穴をあけます。

	下穴	深さ
キャップ付タッピンネジφ5㎜	φ3.5㎜	約50㎜
AY-74	φ9㎜	約70㎜

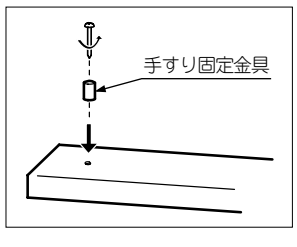
⑤壁取付け
前方ボードの取付穴にボルトを通しワッシャー、袋ナット、ナットで強固に締め付けてください。
棚ブラケットをキャップ付タッピンネジ、または別売のAYボルトで壁に取り付けます。



⑥縦手すり取付け
型紙を棚板の上にのせ、型紙の穴から棚へドリルにて下穴（φ3.2～3.7）をあけてください。

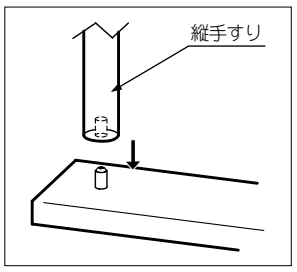


手すり固定金具を組み付けます。

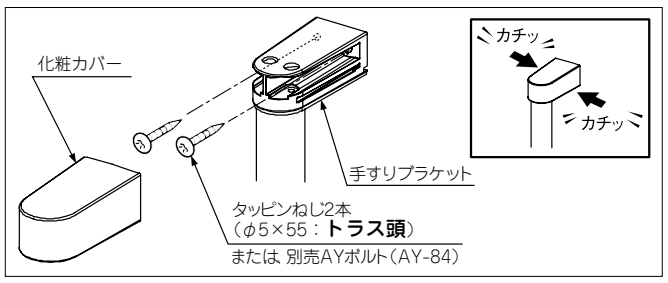


縦手すりを差し込み垂直を確認しながら、縦手すりブラケットの取付穴位置をけがき、下穴をあけ、タッピンネジ、または別売のAYボルトで壁に取り付けます。

	下穴	深さ
タッピンネジφ5㎜	φ3.5㎜	約50㎜
AY-84	φ9㎜	約70㎜



ブラケットの上からカバーをスライド挿入した後､「カチッ」と音がしてしっかりはまり込むよう両サイドから指で押えてください。

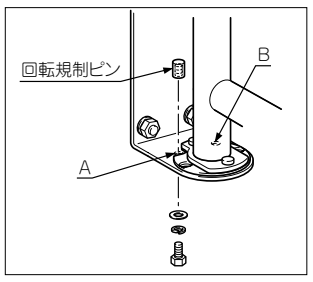


※化粧カバーは、「カチッ」と手応えがあるまでしっかりと挿入し、ツメが手すりブラケットに完全にはまり込むまで押し込んでください。
※１度はめ込んだ化粧カバーを取り外す必要が生じた場合は、切り欠きに細い、マイナスドライバーの先端を差し込み両サイドのツメを浮かせてから外してください。

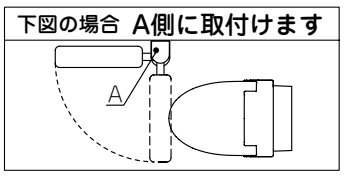
⑦回転規制
前方ボードの回転規制ピンをLRの向きにあわせて取り付けます。

⚠注　意

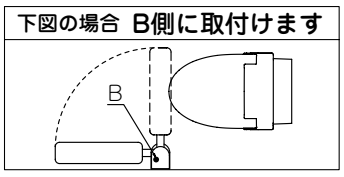
必ず取り付けてください。
※取り付けないとケガをする恐れがあります。



下図の場合　A側に取付けます

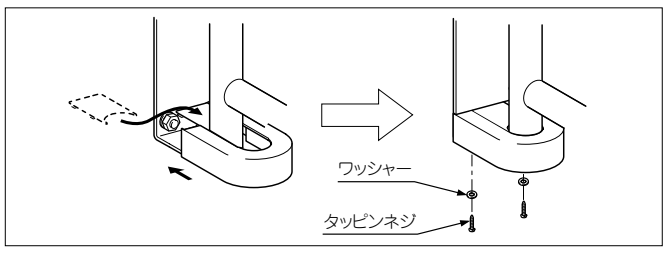


下図の場合　B側に取付けます

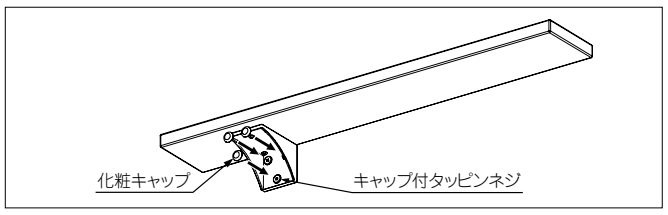


注意　取付け後、回転方向が正しいか、作動させ確認ください。

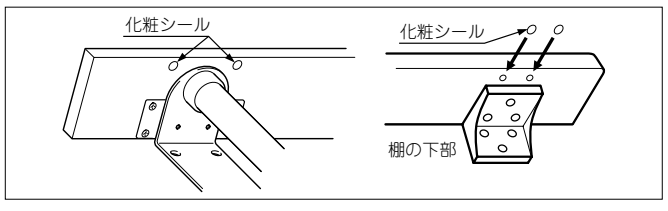
⑧前方ボード　化粧カバー取付け
カバー通しを図のようにスライドさせながら嵌合させ、下部より手締めでネジ止めしてください。



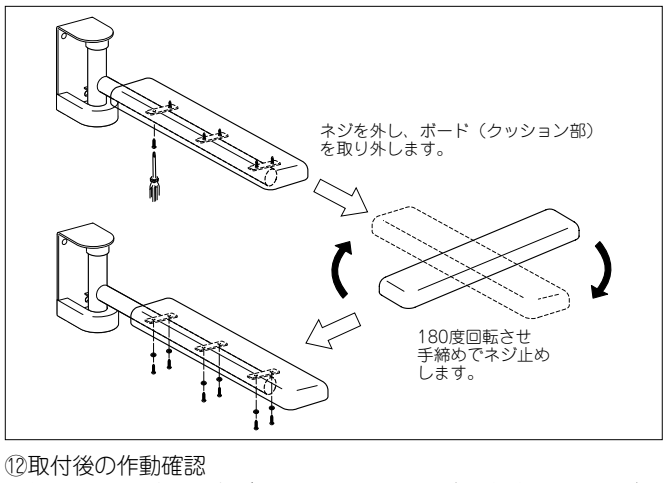
⑨化粧キャップをキャップ付タッピンにかぶせます。



⑩前方ボード及び棚ブラケットの前にある穴に化粧シールを貼ってください。



⑪ボード部（クッション部）の付替え
壁から便器中心までの距離が411～460㎜の場合ネジを外し、位置を付替えます。



⑫取付後の作動確認
施工後、取付け方向が正しいか、スムーズに作動するか、ガタツキがないかを確認してください。
また同梱のシールを付近の壁など、見易い位置に貼付けるかもしくは、お客さまにお渡しください。